



平成 19 年 4 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社キリン堂
代 表 者 名 代表取締役社長 寺西 豊彦
(コード番号 2660 東証第一部・大証第二部)
問 合 せ 先 常務取締役 井村 登
事業戦略室長
(TEL. 06-6330-0211 (代表))

特別損失の発生及び平成 19 年 2 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において特別損失が発生する見込みとなりましたので、下記のとおりその概要をお知らせいたします。また、これに伴い、平成 18 年 9 月 29 日の中間決算発表時に公表しました「平成 19 年 2 月期（平成 18 年 2 月 16 日～平成 19 年 2 月 15 日）」の業績予想（連結・個別）を下記のとおり修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

「固定資産の減損に係る会計基準」を適用することに伴い、当社が所有している店舗設備等の一部について減損損失が 4 億 37 百万円発生、さらに当社及び当社連結子会社である㈱ジェイドラッグの不採算店舗の閉鎖に伴い固定資産除却損など 86 百万円が発生することにより、以下の金額を特別損失に計上いたします予定であります。

連結：5 億 24 百万円

個別：5 億 20 百万円

2. 当期の通期業績予想の修正（平成 18 年 2 月 16 日～平成 19 年 2 月 15 日）

①連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A) (平成 18 年 9 月 29 日)	72,564	1,722	690
今 回 修 正 予 想 (B)	72,803	1,651	577
増 減 額 (B-A)	239	△ 71	△ 113
増 減 率 (%)	0.3	△ 4.2	△ 16.4
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 18 年 2 月期)	66,690	1,574	753

②個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A) (平成18年9月29日)	72,300	1,745	709
今回修正予想 (B)	72,508	1,674	605
増減額 (B-A)	208	△ 70	△ 103
増減率 (%)	0.3	△ 4.0	△ 14.6
(ご参考) 前期実績 (平成18年2月期)	66,356	1,544	744

3. 業績予想の修正理由

当社が属するドラッグストア業界では、上位企業による他地域への積極出店並びに価格競争の激化、改正薬事法の施行に伴う異業態の新規参入等により、資本・業務提携等の再編が加速しております。

このような環境下におきまして、当社グループは、関西地域でのドミナント化を強力に推進し、スーパードラッグストアを中心とした積極出店と不採算店の整理を促進するとともに、㈱ジェイドラッグ並びに㈱ニッシュードラッグのM&Aを実施いたしました。

当上半期における経営環境は、前年同期のような花粉症の大流行や健康食品（コエンザイムQ10等）の大ヒットがなく、さらには天候不順の影響も受け、非常に厳しい状況で推移いたしました。

下半期に入り、粗利率の改善並びにコストコントロールの維持を経営の根幹に置き、ヘルス&ビューティケア商品の販売強化や販促の見直し等により収益の確保に努めた結果、中間期実績に比べ当下半期は相応の業績回復を図ることが出来ましたが、経常利益におきましては、16億51百万円（前回予想比71百万円減）となる見込みであります。

また、当期純利益におきましても、上記の特別損失を計上することにより、前回公表計数を下回る見込みであります。

なお、通期の個別業績の修正につきましては、主として、連結業績と同一の要因によるものであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上